

# 【2022年卒】学生の就職活動調査

**Agre** アグレ 新卒2022

株式会社 求人おきなわ

雇用推進事業部

## 調査概要

- 調査目的 学生の就職活動の動向を把握する
- 調査対象 2022年3月卒業予定の新規学卒者（大学・専門学校等）、既卒者
- 調査期間 2021年1月19日、2月22日、3月2日、4月2日
- 調査方法 ・「2021年1月・2月開催のインターンシップフェア」「2021年3月・4月開催のアグリ新卒就活フェスタ」に参加した学生にアンケート用紙を配布、回収  
※設問ごとに有効回答のみで集計
- 有効回答数 545件

学校種別	男性	女性	無回答	総計
大学	163	178	1	342
大学院	4	6	0	10
短期大学	0	7	0	7
高等専門学校	1	0	0	1
専門・専修学校	105	69	3	177
その他（職業能力開発大等）	7	1	0	8
無回答	0	0	3	3
<b>総計</b>	<b>280</b>	<b>261</b>	<b>7</b>	<b>548</b>

## 目次

調査結果の概要【総括】【概要】	2
● 学生が就職先選びで重視したことと企業が採用活動で強くアピールしたこと	6
● 就職先選びで重視する理由	7
● 興味のある業界	9
● 興味のある職種	10
● 就職活動中に強く知りたいと思う情報	11
● 就活で活用したいツール	12
● 就活開始時期	13
● エントリー状況	14
● 会社訪問や個別会社説明会の参加状況	15
● 学外の合同企業説明会への参加状況	16
● 応募状況	17
● 選考状況	18
● 内定状況	19
● 就活を終了したい時期	20
● インターンシップの参加状況・参加時期	21
● インターンシップ参加の感想	22

本調査に関するお問い合わせは、下記へお願い申し上げます。

株式会社 求人おきなわ 雇用推進事業部

TEL : 098-864-5680 FAX : 098-864-5552

## 調査結果の概要

### 【総括】

政府が要請する2022年卒・修了予定者等の就職・採用活動スケジュール（※1）に沿い、2022卒新卒学生対象の就職関連イベントを2021年3月1日の広報解禁を軸とし、解禁前の1月・2月にプレ就活イベント「インターンシップフェア」、解禁後を「就活フェスタ（合同企業説明会）」と位置付け開催。参加学生へアンケート用紙を配布・回収する方式で就活解禁前後の学生の動向を探った。

2022年卒学生の就職活動開始時期は「2021年1月以前」が最も多く71.6%。広報解禁後の開催別回答を見ても、3月・4月開催共に「1月以前」が最多であった（3月開催:58.5%、4月開催:48.8%）。

就活の終了希望時期は「10月」23.8%が最多で、6月～10月に全体の78.3%が集中。学校別で見ると、大学生は6月～10月までに、専門・専修学校生は8月～12月に就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。

※1 2022年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を2021年の3月、採用選考活動開始は2021年の6月とした。

1月～4月の学生の就職活動量をみていくと、一人あたりの平均エントリー社数は7.3社（大学生7.9社、専門・専修学校生4.4社）、会社訪問・個別会社説明会の平均参加社数は4.5社（大学生4.6社、専門・専修学校生3.5社）、学外の合同企業説明会の平均参加回数は3.3回（大学生3.6回、専門・専修学校生2.4回）となった。

2022年卒採用予定企業の選考開始（予定）ピークは3月・4月が同率で最多だったものの（※2）、学生の「応募あり27.6%」「選考あり16.3%」と、約7～8割は選考段階へと進んでいない。

企業への平均応募社数は全体3.4社（大学生3.5社、専門・専修学校生3.1社）、選考へ進んでいる平均社数は全体2.4社（大学生2.5社、専門・専修学校生2.2社）、内定獲得平均社数は全体1.7社（大学生1.8社、専門・専修学校生1.0社）と、僅かながら早期の応募・選考・内定へと活動を進めている学生も見受けられた。

22年卒を対象とした企業の採用活動計画調査（※2）では、3月広報解禁前の2月以前に広報を開始した企業が54.3%を占め、個別会社説明会でも45.6%の企業が3月広報解禁前に開始した。また、選考開始・面接開始共にピーク時期は3月・4月が最多。

※2 「【2022年卒】企業の採用活動計画調査」2022年新卒採用活動企業を対象に2020年11月～12月に調査。

学生が就職先企業を選ぶ重視条件トップ5は、1位「給与水準」（企業アピール18位）、2位「勤務時間・休暇」（企業アピール7位）、3位「勤務地」（企業アピール11位）、4位「職種・仕事内容」（企業アピール1位）、5位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」（企業アピール16位）であった。

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由として、『給料が安定していて、仕事の成果を本当に評価されればやりがいがあるから』『生活する上で余裕が欲しいから』『生活の安定の為に金銭が欲しい』等が挙げられ、2位「勤務時間・休暇」では、『仕事とプライベート両立していく中で、大切だと思うから』『ある程度の休みがないと気持ちのリフレッシュができず、注意散漫になってしまうから』『プライベートも充実させたい。新卒のうちにはいろいろなことを経験したい』等。3位「勤務地」では『Uターン希望の為に他の県で就職がしたいから』、4位「職種・仕事内容」では『仕事をする前に、具体的な仕事内容を知っておきたいため。給与面の情報も知っておきたい』、5位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」では『自分の技術がどれほど活かせるか体験したい』『自分も能力を活かせる会社は長く続くと思うから』等が挙げられた。

1位の「給与水準」を選んだ理由に「生活」というキーワードが挙がっており、生活へ必要なものとして給与を重視する傾向がみられた。2位の「勤務時間・休暇」を選んだ理由では「プライベート」というキーワードが挙がっており、仕事とプライベートの両立を重視した企業選びをしていることが窺える。

学生・企業共に上位5位内となったのは学生4位・企業1位の「職種・仕事内容」のみ。

企業アピール2位の「社会や地域への貢献度」は学生11位、3位の「社風・コーポレートカラー」は学生16位と、社会貢献や社風といったアピール要素は、学生の重視条件としてはランク中位～下位であった。

22年卒を対象とした企業の採用活動計画調査（※2）で、採用活動において企業が学生へアピールしたい上位は、1位「職種・仕事内容」、2位「社会や地域への貢献度」、3位「社風・コーポレートカラー」、4位「雇用の安定性」、5位「企業戦略やビジョン」など。

---

学生が興味のある業界で人気が高かったのは1位「サービス」、2位「IT・情報通信」、3位「金融・証券・保険」、4位「ホテル・旅行」、5位「卸売・小売・流通」。

興味のある職種では、同率1位で「接客・サービス」「事務」、3位「営業」、4位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」、5位「クリエイティブ」だった。

就職活動中に強く知りたいと思う情報は1位「具体的な仕事内容」、2位「社内の人間関係や職場の雰囲気」、3位「社員にとっての仕事のやりがい」となっており、働くイメージをより具体的に得られる情報を求めていることが窺える。

また、4位「実際の勤務時間や残業時間」や6位「仕事とプライベートの両立の実態」については、先の設問「就職先企業を選ぶ重視条件」の上位回答に「勤務時間・休暇」が挙がっていることから、プライベートを重視する指向がより浮かび上がってくる。

2022年卒採用予定企業へ採用活動で新たに取り組みたいこと（取り組む予定）があるかを聞いた（※2）ところ、39.1%が「新たな取り組み（予定）がある」と回答。取り組みたいこととして『オンライン説明会への出席。動画作成（現場風景）』『オンライン完結型インターンシップを導入済み』『ソーシャルリクルーティング(SNS)採用』などが挙げられた。

学生が挙げた就活で活用したいツールとしては「WEB(視聴型)説明会」71.0%、「WEB(ライブ型)説明会」47.9%と、企業・学生ともにWEBを活用した採用活動・就職活動へのニーズの高まりが窺える。

新卒者を対象としたインターンシップへの取り組みについて、9割超の企業が「採用手法として有効」と回答しており（※2）、その理由として『インターンシップに参加された大部分の方が採用応募に至っている』『会社や仕事への理解を深めた学生の方が、選考から離脱しにくい』『インターンシップを受けてもらったことで、面接などの質問がより深くなる』等が挙げられた。

インターンシップ参加経験のある学生（参加経験「あり」41.6%）も、その感想として「企業イメージが良くなった」73.6%、「採用があれば選考を受けたいと思った」57.4%と、好印象と感じた回答が上位を占め、企業が新卒採用の手法として、インターンシップを実施している一定の成果がみられる。

---

22年卒を対象とした企業の採用活動計画調査（※2）では、インターンシップ実施企業（実施予定企業）69.6%、インターンシップが採用手法として有効と回答した企業93.5%であった。

---

※2 「【2022年卒】企業の採用活動計画調査」2022年新卒採用活動企業を対象に2020年11月～12月に調査。

## 【概要】

### ～学生が就職先選びで重視したことと企業が採用活動で強くアピールしたこと、就職先選びで重視する理由（P6～P7）～

学生が就職先企業を選ぶ重視条件の上位5位は、1位「給与水準」（企業アピール18位）、2位「勤務時間・休暇」（企業アピール7位）、3位「勤務地」（企業アピール11位）、4位「職種・仕事内容」（企業アピール1位）、5位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」（企業アピール16位）であった。

一方、企業が学生へアピールしたい上位（※2）は、1位「職種・仕事内容」（学生重視4位）、2位「社会や地域への貢献度」（学生重視11位）、3位「社風・コーポレートカラー」（学生重視16位）、同率4位「雇用の安定性」（学生重視6位）、「企業戦略やビジョン」（学生重視10位）であった。

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由では、『給料が安定していて、仕事の成果を本当に評価されればやりがいがあるから』『生活する上で余裕が欲しいから』『生活の安定の為に金銭が欲しい』等で、2位「勤務時間・休暇」では、『仕事とプライベート両立していく中で、大切だと思うから』『ある程度の休みがないと気持ちのリフレッシュができず、注意散漫になってしまうから』『プライベートも充実させたい。新卒のうちにはいろいろなことを経験したい』等、3位「勤務地」では『Uターン希望の為に』『他の県で就職がしたいから』、4位「職種・仕事内容」では『仕事をする前に、具体的な仕事内容を知っておきたいため。給与面の情報も知っておきたい』、5位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」では『自分の技術がどれほど活かせるか体験したい』『自分も能力を活かせる会社は長く続くと思うから』等が挙げられた。

就活解禁前後の時期の学生は、給与水準や勤務時間・休暇、勤務地など生活面に関わる条件を重視する傾向が窺える。

※2 「【2022年卒】企業の採用活動計画調査」2022年新卒採用活動企業を対象に2020年11月～12月に調査。

### ～興味のある業界、興味のある職種（P9～P10）～

興味のある業界では1位「サービス」49.6%、2位「IT・情報通信」39.1%、3位「金融・証券・保険」35.6%、4位「ホテル・旅行」31.6%、5位「卸売・小売・流通」22.5%の順だった。

学校別でみると、大学生では1位「サービス」、2位「金融・証券・保険」、3位「IT・情報通信」。一方、専門・専修学校生では1位「サービス」、2位「ホテル・旅行」、3位「IT・情報通信」となった。

興味のある職種は、同率1位で「接客・サービス」「事務」43.5%、3位「営業」37.5%、4位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」28.2%、5位「クリエイティブ」26.5%だった。

学校別でみた場合、大学生は1位「事務」で2位「営業」、3位「接客・サービス」。専門・専修学校生は1位「接客・サービス」、2位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」、3位「事務」となった。

### ～知りたい情報・活用したいツールについて（P11～P12）～

就職活動中に強く知りたいと思う情報は「具体的な仕事内容」76.9%、「社内の人間関係や職場の雰囲気」59.0%、「社員にとつての仕事のやりがい」47.9%が上位3位であった。

学校別での上位3位は全体の順位と同じ。大学生の4位は「会社の強み」47.9%、専門・専修学校生の4位は「収入のモデル」33.3%であった。

就活で活用したいツールは「WEB(視聴型)説明会」71.0%がトップ。次いで「WEB(ライブ型)説明会」47.9%、「企業からのスカウト」28.1%、「WEB面接」26.6%、「企業の動画配信(YouTube)」25.7%の順。

学校別でみると、首位・次点は大学生、専門・専修学校生共に「WEB(視聴型)説明会」（大学生:72.8%、専門・専修学校生:65.4%）、「WEB(ライブ型)説明会」（大学生:53.1%、専門・専修学校生:33.8%）だが、3位は大学生「企業からのスカウト」34.4%、専門・専修学校生「WEB面接」30.1%と、活用したいツールに違いがあった。

### ～就活開始時期、就活を終了したい時期（P13・P20）～

22年卒の就活開始時期は、「1月以前」が最も多く71.6%を占めた。開催別でも、すべての開催回で「1月以前」の回答が最多であった。広報解禁後の回答を学校別でみると、3月参加の大学と4月参加の大学、専門・専修学校生でも「1月以前」の活動開始が最も多く、それぞれ72.1%、45.8%、60.0%であった。3月参加の専門・専修学校生は「3月頃(広報解禁)」38.0%が最多であったものの、「1月以前」の回答も1.4ポイント差の36.6%であった。

「いつまでに就職活動を終わりたいか？」の質問では「10月」が最も多く23.8%。次いで「8月」16.9%、「6月」14.3%、「7月」12.6%、「12月」12.2%と、6～10月に78.3%が集中。選考解禁～年内で就活を終了したい傾向が窺えた。

学校別では、大学生、専門・専修学校生共に首位は「10月」（大学生:22.8%、専門・専修学校生:24.4%）。大学生の次点は「6月」17.9%。専門・専修学校生は「12月」24.4%が同率首位。大学生は6月～10月までに、専門・専修学校生は8月～12月に就活を終わりたいと考えている学生が多いことが窺えた。

開催別でも概ね「10月」が多いが、3月参加の専門・専修学校生では「12月」42.9%、4月参加「2022年3月」20.0%が最も多かった。

---

～「エントリー」、「会社訪問や個別会社説明会」、「学外の合同企業説明会」、「応募」、「選考」、「内定」状況（P14～P19）～  
エントリーの状況は、「エントリーあり」39.8%、「エントリーなし」60.2%。

広報解禁前の1月・2月は大学生、専門・専修学校生共に「エントリーなし」が「エントリーあり」を上回っているが、広報解禁後の3月・4月では大学生は「エントリーあり」が「エントリーなし」を上回っている。専門・専修学校生は、すべての開催回で「エントリーなし」が「エントリーあり」を上回った。

エントリー社数は、「1～5社」62.4%が最多（「1～5社」大学生:59.2%、専門・専修学校生:79.3%）。

平均エントリー社数は全体7.3社、大学生7.9社、専門・専修学校生4.4社であった。

会社訪問・個別会社説明会の参加状況は、「参加あり」50.4%、「参加なし」49.6%。大学生は「参加あり」（64.4%）が多く、専門・専修学校生は「参加なし」（74.7%）が多かった。

開催別は、大学生はすべての開催回で「参加あり」が多く、4月は78.0%が会社訪問・個別会社説明会へ参加していた。専門・専修学校生は2月開催のみ「参加あり」が5割を超えたものの、1月・3月・4月は「参加なし」の回答が多かった。

参加社数は、「1～5社」78.7%が最多で、学校別の首位も同様（「1～5社」大学生:77.6%、専門・専修学校生:83.3%）。

平均参加社数は全体4.5社、大学生4.6社、専門・専修学校生3.5社であった。

学外の合同企業説明会の参加状況は、「参加あり」76.6%、「参加なし」23.4%（「参加あり」大学生:86.6%、専門・専修学校生:58.8%）。

開催別でも、すべての開催回で「参加あり」が多く、大学生は8割超、専門・専修学校生も5割超がすべての開催回で「参加あり」と回答した。

参加回数は、「2回」が全体、大学生、専門・専修学校生共に最多で、それぞれ28.9%、21.7%、50.5%。3回以上参加している大学生は59.9%、専門・専修学校生は26.8%であった。

平均参加回数は全体3.3回、大学生3.6回、専門・専修学校生2.4回。

応募状況は、「応募なし」72.4%、「応募あり」27.6%（「応募なし」大学生:65.6%、専門・専修学校生:84.3%）。

開催別でみると、広報解禁前の1月・2月は総じて2割台だが、解禁直後の3月開催回では、大学生は前月の2月開催回と比べ11.0ポイント増、4月には5割超の大学生が応募行動を起こしていた。専門・専修学校生は1月・2月参加学生は2割超が「応募あり」であったが、解禁直後の3月参加学生の「応募あり」は6.8%、4月参加学生は18.5%であった。

応募社数は、全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多で、次いで「2社」。「1社」「2社」の合計はそれぞれ58.4%、55.3%、69.3%となり、1月～4月の応募社数は「1社」ないし「2社」の学生が多いことが窺える。5社以上応募している学生も全体、大学生、専門・専修学校生でそれぞれ26.2%、26.6%、23.1%だった。

平均応募社数は全体3.4社、大学生3.5社、専門・専修学校生3.1社であった。

選考状況は、「選考なし」83.7%、「選考あり」16.3%（「選考なし」大学生:80.6%、専門・専修学校生89.8%）。広報解禁前後の1月～4月の段階で早期選考に進んでいる学生は約1～2割であった。

「選考あり」学生の選考社数は全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多で、それぞれ42.7%、45.0%、35.3%。

平均選考社数は全体2.4社、大学生2.5社、専門・専修学校生2.2社であった。

内定状況は、「内定なし」97.8%、「内定あり」2.2%（「内定なし」大学生:97.1%、専門・専修学校生:99.4%）。僅かながら、広報解禁前後の1月～4月で早期内定を獲得している学生もいることがわかる。

内定社数は、「1社」63.6%が最も多い。学校別でみると、大学生は「1社」66.7%、2社以上の内定を得ている学生も33.3%。専門・専修学校生は「1社」100.0%であった。

平均内定社数は全体1.7社、大学生1.8社、専門・専修学校生1.0社。

#### ～インターンシップの参加状況、参加時期（P21）～

インターンシップの参加状況は「参加あり」41.6%、「参加なし」58.4%で、「参加あり」が16.8ポイント下回った。

参加した時期は、広報解禁前の「2021年2月」70.2%が最多。次いで「2020年8月」29.1%となり、解禁目前の2月と前年8月（学校の春期・夏期休業の時期）に集中している。

学校別では、大学生は広報解禁前の「2021年2月」70.2%、「2020年8月」33.6%、「2019年12月以前」20.6%の順。専門・専修学校生は広報解禁前の「2021年2月」81.3%が最多であった。

#### ～インターンシップ参加の感想（P22）～

参加した学生が、インターンシップ先の企業に感じたことは「企業のイメージが良くなった」73.6%がトップ、次いで「採用があれば選考を受けたいと思った」57.4%、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」28.4%の順で、好印象と感じた回答が上位3位を占めた。

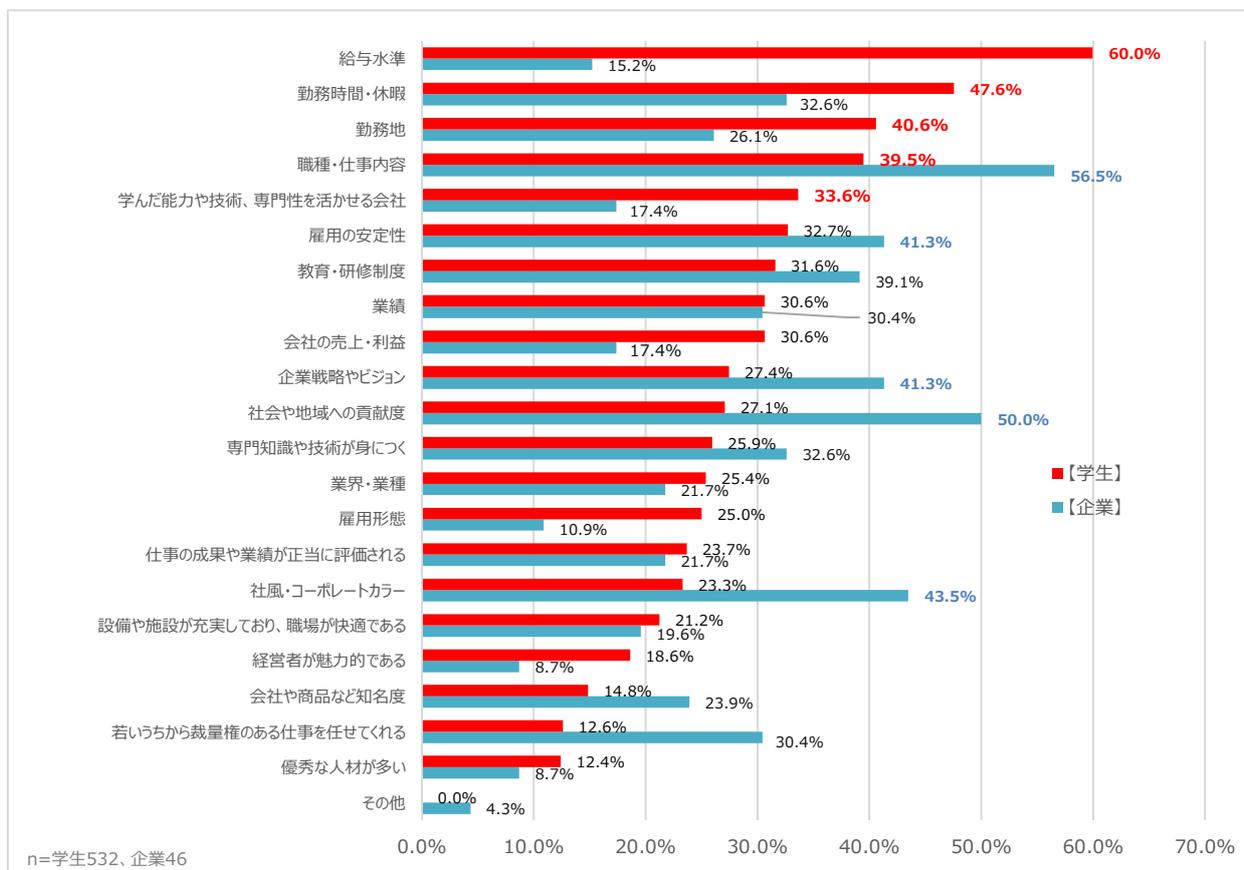
学校別でも大学生の1位～3位は全体と同様。専門・専修学校生の首位は全体と同じで、全体の2位・3位が同率2位であった。

## ● 学生が就職先選びで重視したことと企業が採用活動で強くアピールしたこと

新卒学生が就職先企業を選択する際の重視条件1位は、「給与水準」60.0%だった。2位は「勤務時間・休暇」47.6%、3位は「勤務地」40.6%、4位「職種・仕事内容」39.5%、5位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」33.6%の順。一方、企業が学生へアピールしたこと1位は「職種・仕事内容」（学生重視4位）、2位「社会や地域への貢献度」（学生重視11位）、3位「社風・コーポレートカラー」（学生重視16位）、同率4位「雇用の安定性」（学生重視6位）「企業戦略やビジョン」（学生重視10位）であった。

※ 「【2022年卒】企業の採用活動調査」2022年新卒採用活動企業を対象に2020年11月～2020年12月に調査

### ■ 学生が就職先選びで重視したことと企業が採用活動で強くアピールしたこと（複数回答）



企業を選択する際の重視項目	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
給与水準	60.0%	62.3%	55.8%
勤務時間・休暇	47.6%	47.2%	47.1%
勤務地	40.6%	39.5%	40.7%
職種・仕事内容	39.5%	41.2%	36.0%
学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社	33.6%	31.8%	36.0%
雇用の安定性	32.7%	37.7%	20.9%
教育・研修制度	31.6%	35.0%	25.6%
会社の売上・利益	30.6%	28.5%	33.7%
業績	30.6%	31.2%	30.2%
企業戦略やビジョン	27.4%	33.5%	14.0%
社会や地域への貢献度	27.1%	33.5%	15.1%
専門知識や技術が身につく	25.9%	27.0%	22.1%
業界・業種	25.4%	28.5%	16.9%
雇用形態	25.0%	26.1%	20.9%
仕事の成果や業績が正当に評価される	23.7%	26.1%	19.2%
社風・コーポレートカラー	23.3%	32.0%	8.1%
設備や施設が充実し、職場が快適である	21.2%	22.0%	18.6%
経営者が魅力的である	18.6%	21.1%	14.0%
会社や商品など知名度	14.8%	16.9%	11.6%
若いうちから裁量権のある仕事を任せてくれる	12.6%	15.1%	7.6%
優秀な人材が多い	12.4%	14.8%	7.6%

表内・上位5位までをマーク

## ●就職先選びで重視する理由

就職先企業を選択する際の重視条件1位「給与水準」を選択した理由では『生活する上で余裕が欲しいから。』『生活の安定のため。』等、2位「勤務時間・休暇」では、『プライベートも充実させたい』等、3位「勤務地」では『Uターン希望』『他の県で就職したい』。4位「職種・仕事内容」では『仕事をする前に、具体的な仕事内容を知っておきたい』、5位「学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社」では『自分の技術がどれほど活かせるか体験したい』等が挙げられた。

就活解禁前後の時期の学生は、給与水準や勤務時間・休暇、勤務地など生活面に関わる条件を重視する傾向が窺える。

### ■就職先選びで重視する理由（自由回答）

#### 【給与水準】との回答理由

- ・給料が安定していて、仕事の成果を本当に評価されればやりがいがあるから。
- ・生活する上で余裕が欲しいから。
- ・生活の安定の為お金が欲しい。
- ・給与や勤務時間は生活のため、研修は充実していたほうが安心だから。
- ・資格取得することによる給与などが気になる。

#### 【勤務時間・休暇】との回答理由

- ・仕事とプライベート両立していく中で、大切だと思うから。
- ・ある程度の休みがないと気持ちのリフレッシュができず、注意散漫になってしまうから。
- ・プライベートも充実させたい。新卒のうちにはいろいろなことを経験したい。
- ・自由に使える時間が欲しい。
- ・プライベートも大事にしたいから。
- ・プライベートを満喫したいから。
- ・プライベート中心な生活がしたいから。
- ・仕事もプライベートも充実させたいから。
- ・土日が休みで、人と接する仕事がしたいため。

#### 【勤務地】との回答理由

- ・Uターン希望の為。
- ・他の県で就職がしたいから。

#### 【職種・仕事内容】との回答理由

- ・仕事をする前に、具体的な仕事内容を知っておきたいため。給与面の情報も知っておきたい。

#### 【学んだ能力や技術、専門性を活かせる会社】との回答理由

- ・自分の技術がどれほど活かせるか体験したい。
- ・学校で学んだことを活かして行きたいから、勤務の管理をしっかりしてないと続かないと思うから。
- ・自分も能力を活かせる会社は長く続くと思うから。
- ・習得した資格を活かしたいから。

#### 【雇用の安定性】との回答理由

- ・リストラや倒産してしまったら困る点と、プライベートも充実させたいから。
- ・給与がよくても、離職率が高いところは働きたくない。

#### 【教育・研修制度】との回答理由

- ・教育制度や社風などが充実していれば自分のキャリアアップにつながると思うから。
- ・研修制度とかが充実していたら入社後も安心だから。
- ・教育と研修制度は充実してほしい。

#### 【会社の売上・利益】との回答理由

- ・会社の利益向上には目的意識が必要だと考えるから。

#### 【業績】との回答理由

- ・業績が上であるほど、やりがいを感じると思うから。

#### 【企業戦略やビジョン】との回答理由

- ・その理念が会社や人を決めると思うから。
- ・経営理念や会社としての軸を知りたい。

#### 【社会や地域への貢献度】との回答理由

- ・沖縄で地元貢献できる会社が良いという軸があり、大学で学んだことを活かして地域貢献をしていきたいと思うからです。また、自分の幸せもライフバランスも考えているからです。
- ・地元である沖縄のために働きたいため。
- ・地元の地域や働く場所での地域を発展させたいからです。

#### 【専門知識や技術が身につく】との回答理由

- ・若いうちにスキルを少しでも身につけたいので、技術は重視しています。

#### 【業界・業種】との回答理由

- ・自分の興味のある、やりたいと感じる業界・業種の方が、モチベーションの維持ができる。
- ・自分が企業に就くうえで、やりたいことが決まっているのでそれができる業界を重視する。また、柔軟な考えを持った人間になりたいので、そのような社風や若い人に任せるという態度を見る。沖縄に住みたいため、沖縄が良い。

#### 【雇用形態】との回答理由

- ・会社の仕事内容や、雇用形態などを細かく知りたいから。

#### 【仕事の成果や業績が正当に評価される】との回答理由

- ・偏見ではなく、平等に育成・評価してほしい為。

#### 【社風・コーポレートカラー】との回答理由

- ・会社の雰囲気や社員を見て、自分が働きたい、出勤したいと思うか強く感じるから。
- ・雰囲気の良い職場に魅力を感じるから。
- ・会社の社風、ここでずっと頑張っていけるか。

#### 【設備や施設が充実しており、職場が快適である】との回答理由

- ・今後のことを考えると快適を求めたい。

#### 【経営者が魅力的である】との回答理由

- ・経営者や社員の方々が魅力的だと、とても働きやすいし、働いていて楽しいから。
- ・地域に根ざした職場であり、経営者が魅力的であればモチベーションになる。

#### 【会社や商品など知名度】との回答理由

- ・就職して仕事するうえで、まわりの環境が一般的に知れ渡っているような商品を取り扱っていると少しモチベーションになると思います。自分の技術を使えるような仕事は、やりがいになって、働く意味になります。

#### 【若いうちから裁量権のある仕事を任せてくれる】との回答理由

- ・若いうちに良くも悪くも様々な経験をした方がいいと思うから。
- ・様々なことにチャレンジしたいため。

#### 【優秀な人材が多い】との回答理由

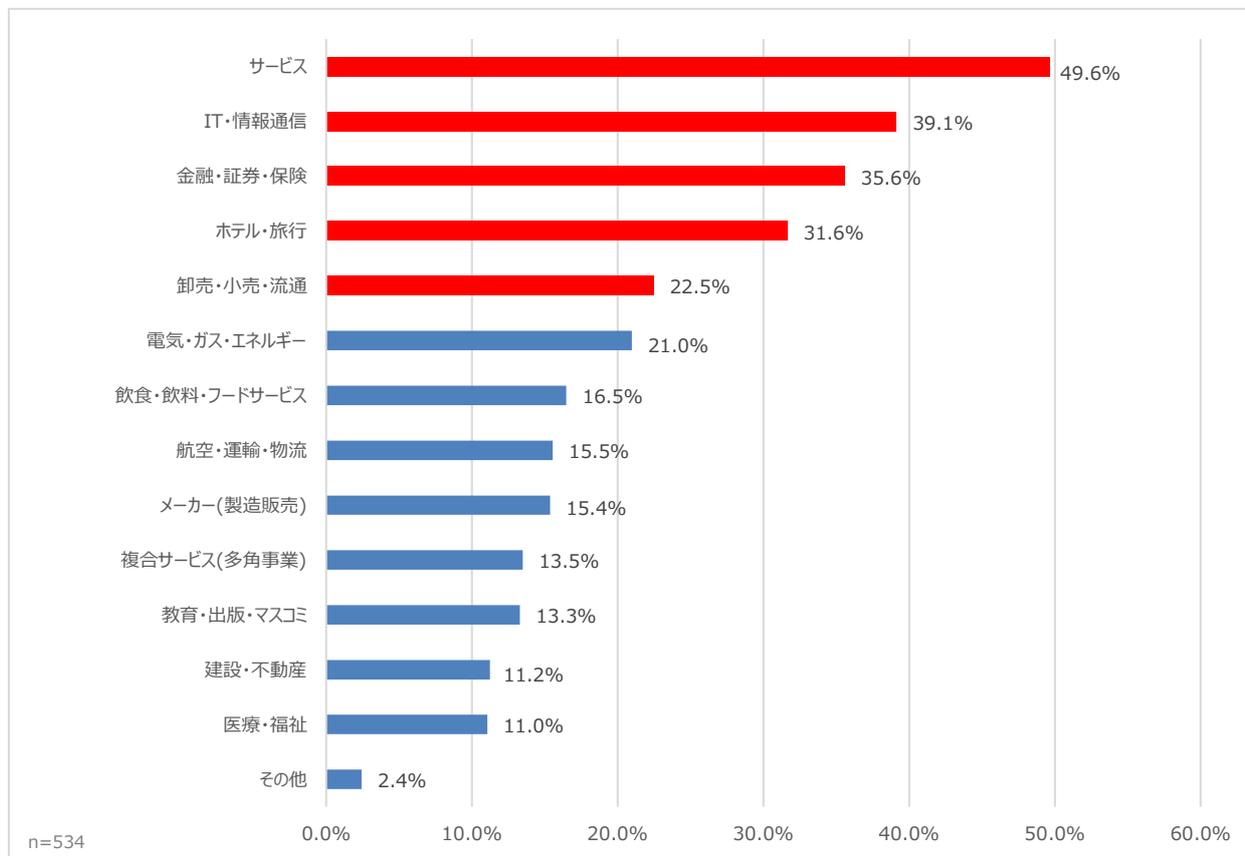
- ・優秀な人材に揉まれて自分の成長につなげるため。

## ● 興味のある業界

興味のある業界では1位「サービス」49.6%、2位「IT・情報通信」39.1%、3位「金融・証券・保険」35.6%、4位「ホテル・旅行」31.6%、5位「卸売・小売・流通」22.5%の順だった。

学校別で見ると、大学生では1位「サービス」、2位「金融・証券・保険」、3位「IT・情報通信」。一方、専門・専修学校生では1位「サービス」、2位「ホテル・旅行」、3位「IT・情報通信」となった。

### ■ 興味のある業界（複数回答）



興味のある業界	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
サービス	49.6%	51.3%	50.0%
IT・情報通信	39.1%	41.8%	33.3%
金融・証券・保険	35.6%	45.4%	20.7%
ホテル・旅行	31.6%	25.7%	45.4%
卸売・小売・流通	22.5%	25.7%	17.2%
電気・ガス・エネルギー	21.0%	26.0%	8.0%
飲食・飲料・フードサービス	16.5%	16.7%	17.2%
航空・運輸・物流	15.5%	16.4%	15.5%
メーカー(製造販売)	15.4%	17.9%	9.8%
複合サービス(多角事業)	13.5%	18.5%	5.2%
教育・出版・マスコミ	13.3%	16.7%	6.9%
建設・不動産	11.2%	12.5%	8.0%
医療・福祉	11.0%	12.2%	8.6%
その他	2.4%	2.4%	2.3%

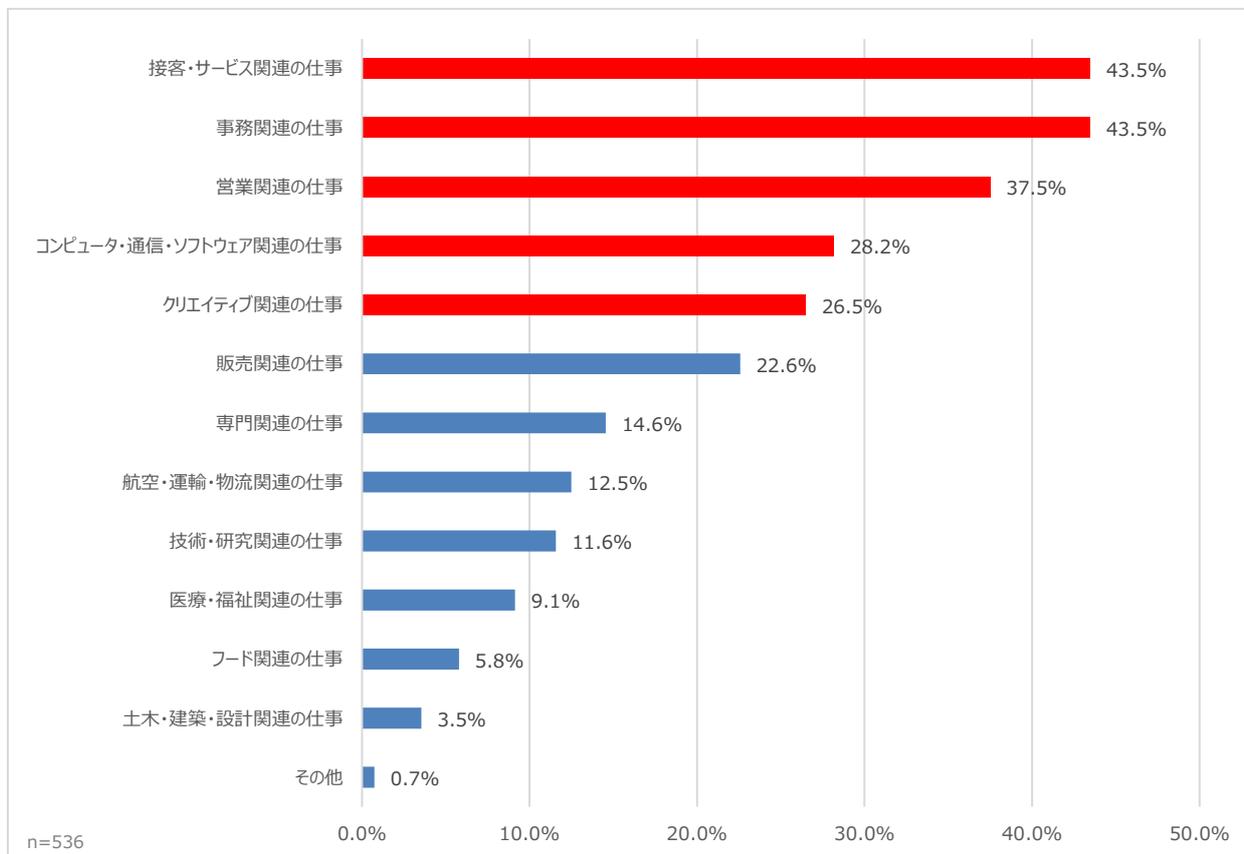
表内・上位5位までをマーク

## ● 興味のある職種

興味のある職種は、同率1位で「接客・サービス」「事務」43.5%、3位「営業」37.5%、4位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」28.2%、5位「クリエイティブ」26.5%だった。

学校別でみた場合、大学生は1位「事務」で2位「営業」、3位「接客・サービス」。専門・専修学校生は1位「接客・サービス」、2位「コンピュータ・通信・ソフトウェア」、3位「事務」となった。

### ■ 興味のある職種（複数回答）



興味のある職種	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
事務関連の仕事	43.5%	53.0%	26.7%
接客・サービス関連の仕事	43.5%	42.2%	48.9%
営業関連の仕事	37.5%	50.0%	17.0%
コンピュータ・通信・ソフトウェア関連の仕事	28.2%	28.1%	29.0%
クリエイティブ関連の仕事	26.5%	30.8%	19.9%
販売関連の仕事	22.6%	22.2%	25.6%
専門関連の仕事	14.6%	15.6%	11.9%
航空・運輸・物流関連の仕事	12.5%	13.2%	12.5%
技術・研究関連の仕事	11.6%	9.9%	8.5%
医療・福祉関連の仕事	9.1%	10.8%	6.8%
フード関連の仕事	5.8%	6.6%	5.1%
土木・建築・設計関連の仕事	3.5%	3.3%	2.3%
その他	0.7%	0.6%	1.1%

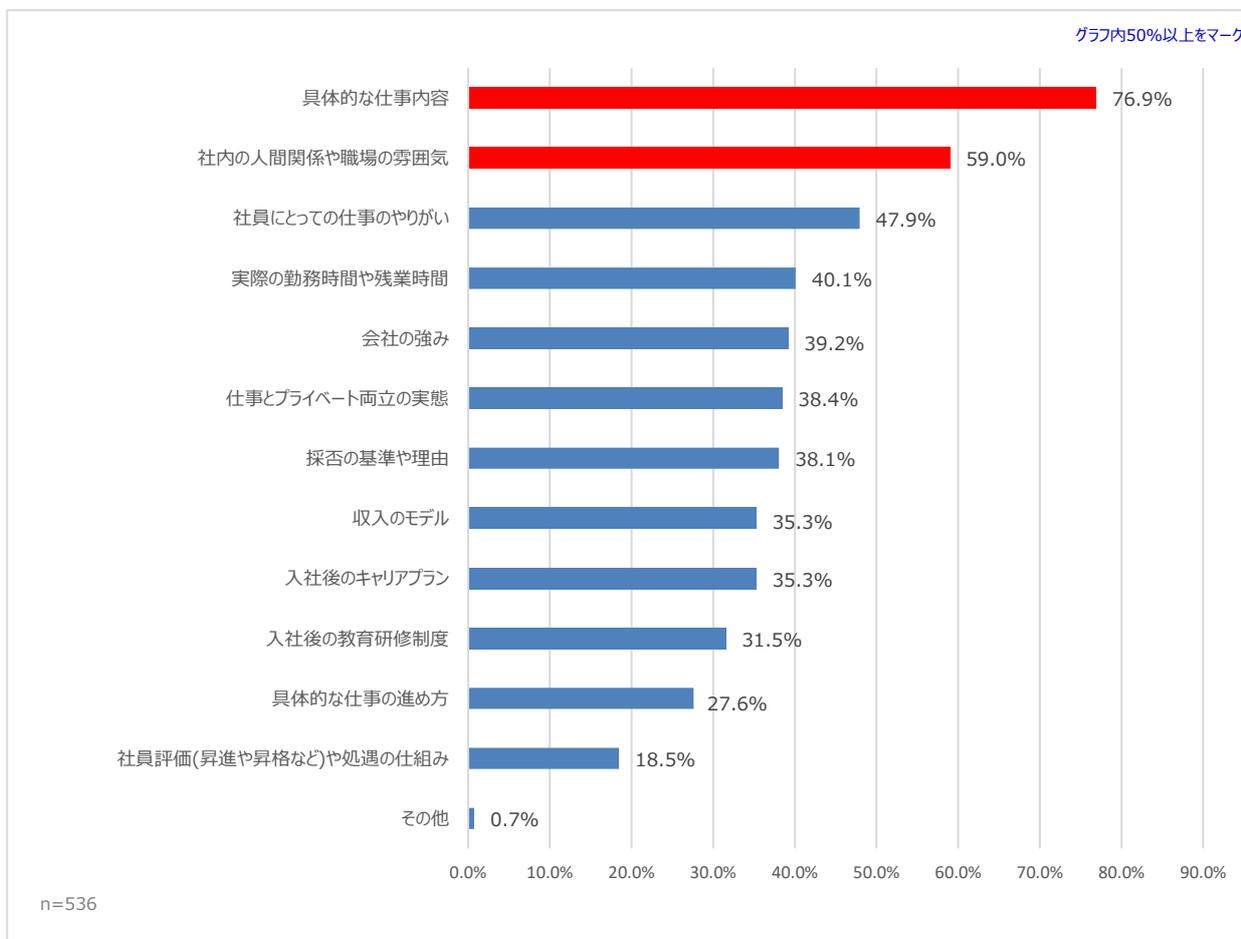
表内・上位5位までをマーク

● 知りたい情報

就職活動中に強く知りたいと思う情報は「具体的な仕事内容」76.9%、「社内の人間関係や職場の雰囲気」59.0%、「社員にとっての仕事のやりがい」47.9%が上位3位であった。

学校別での上位3位は全体の順位と同じ。大学生の4位は「会社の強み」47.9%、専門・専修学校生の4位は「収入のモデル」33.3%であった。

■ 就職活動中に強く知りたいと思う情報は？（複数回答）



情報収集方法	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
具体的な仕事内容	76.9%	79.5%	70.1%
社内の人間関係や職場の雰囲気	59.0%	67.3%	43.7%
社員にとっての仕事のやりがい	47.9%	54.8%	37.4%
実際の勤務時間や残業時間	40.1%	45.2%	29.9%
会社の強み	39.2%	47.9%	21.3%
仕事とプライベート両立の実態	38.4%	44.6%	27.0%
採否の基準や理由	38.1%	41.7%	28.7%
入社後のキャリアプラン	35.3%	42.3%	22.4%
収入のモデル	35.3%	36.0%	33.3%
入社後の教育研修制度	31.5%	33.9%	26.4%
具体的な仕事の進め方	27.6%	31.5%	19.5%
社員評価(昇進や昇格など)や処遇の仕組み	18.5%	19.6%	15.5%
その他	0.7%	0.6%	1.1%

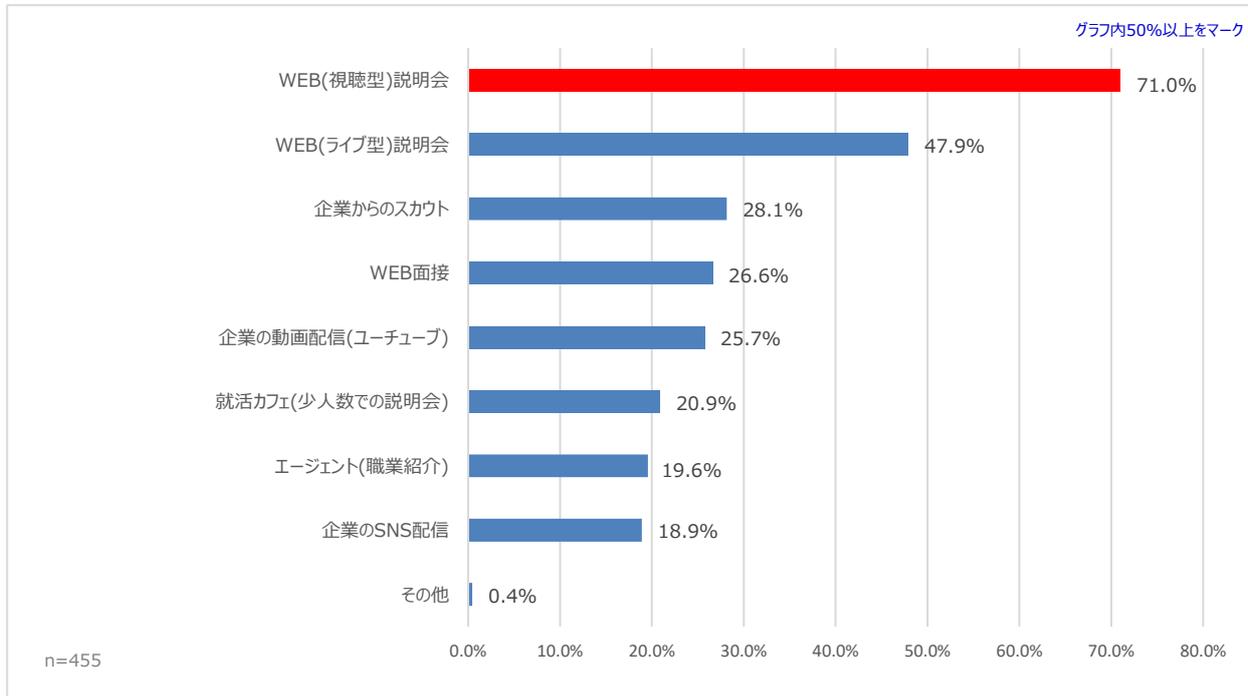
表内・50%以上をマーク

## ●就活で活用したいツール

就活で活用したいツールは「WEB(視聴型)説明会」71.0%がトップ。次いで「WEB(ライブ型)説明会」47.9%、「企業からのスカウト」28.1%、「WEB面接」26.6%、「企業の動画配信(ユーチューブ)」25.7%の順。

学校別でみると、首位・次点は大学生、専門・専修学校生共に「WEB(視聴型)説明会」(大学生:72.8%、専門・専修学校生:65.4%)、「WEB(ライブ型)説明会」(大学生:53.1%、専門・専修学校生:33.8%)だが、3位は大学生「企業からのスカウト」34.4%、専門・専修学校生「WEB面接」30.1%と、活用したいツールに違いがあった。

### ■就活で活用したいツールは？(複数回答)



情報収集方法	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
WEB(視聴型)説明会	71.0%	72.8%	65.4%
WEB(ライブ型)説明会	47.9%	53.1%	33.8%
企業からのスカウト	28.1%	34.4%	16.2%
WEB面接	26.6%	26.5%	30.1%
企業の動画配信(ユーチューブ)	25.7%	31.0%	16.2%
就活カフェ(少人数での説明会)	20.9%	25.5%	14.0%
エージェント(職業紹介)	19.6%	19.7%	19.9%
企業のSNS配信	18.9%	19.0%	19.1%
その他	0.4%	0.7%	0.0%

表内・50%以上をマーク

## ●就活開始時期

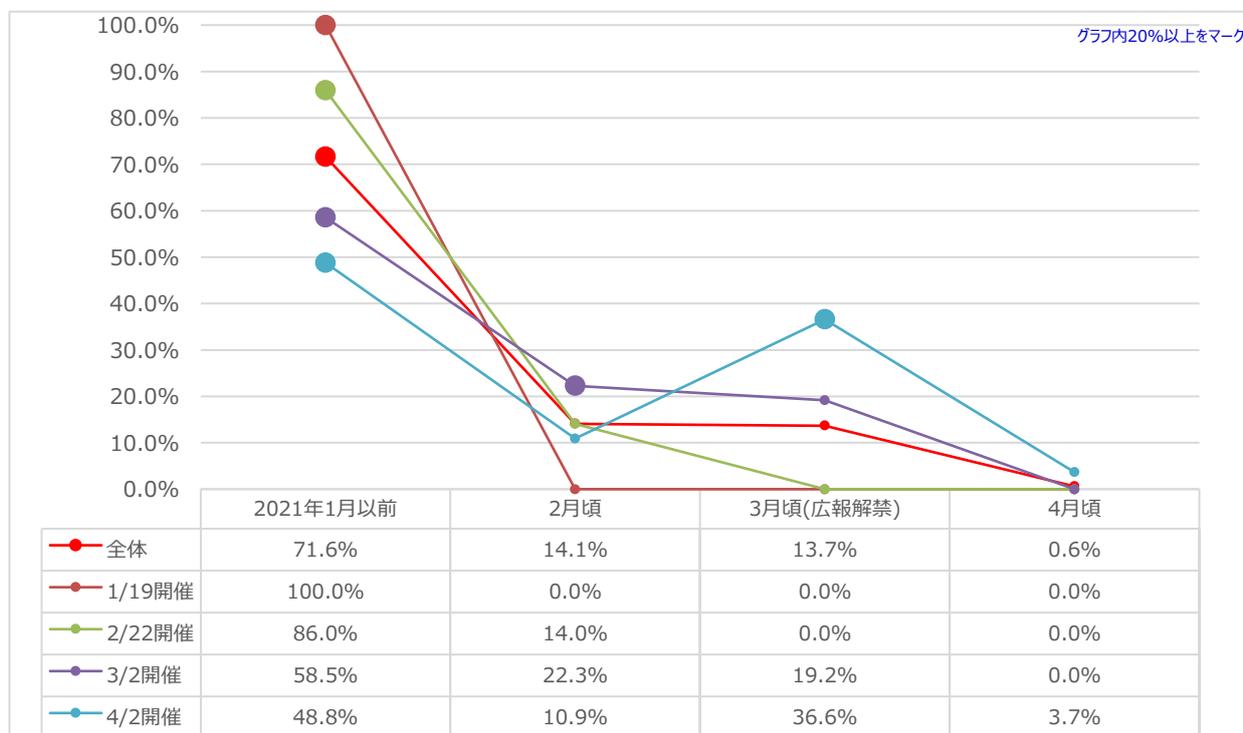
22年卒の就活開始時期は、「1月以前」が最も多く71.6%を占めた。

開催別でも、すべての開催回で「1月以前」の回答が最多であった。

広報解禁後の回答を学校別でみると、3月参加の大学と4月参加の大学、専門・専修学校生でも「1月以前」の活動開始が最も多く、それぞれ72.1%、45.8%、60.0%であった。3月参加の専門・専修学校生は「3月頃(広報解禁)」38.0%が最多であったものの、「1月以前」の回答も1.4ポイント差の36.6%であった。

※ 2022年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を3年生の3月、面接等の選考活動は4年生の6月とした。

### ■いつ頃から就職活動を始めましたか？（自由回答） ★22年卒：1・2月プレ就活イベント、3・4月合説参加者



就職活動開始時期	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
2021年1月以前	71.6%	78.1%	59.5%
2月頃	14.1%	13.5%	17.0%
3月頃(広報解禁)	13.7%	7.7%	23.5%
4月頃	0.6%	0.7%	0.0%

表内・20%以上をマーク

就職活動開始時期×開催回	1/19開催		2/22開催		3/2開催		4/2開催	
	【大学生】	【専門・専修学校生】	【大学生】	【専門・専修学校生】	【大学生】	【専門・専修学校生】	【大学生】	【専門・専修学校生】
2021年1月以前	100.0%	100.0%	89.1%	72.0%	72.1%	36.6%	45.8%	60.0%
2月頃	0.0%	0.0%	10.9%	28.0%	20.9%	25.4%	16.7%	4.0%
3月頃(広報解禁)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	38.0%	33.3%	36.0%
4月頃	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%

表内・20%以上をマーク

## ●エントリー状況

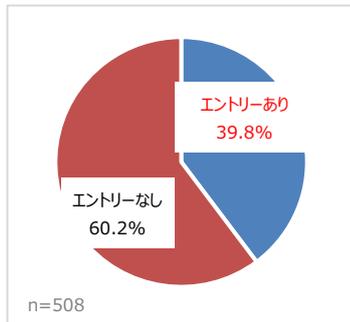
エントリーの状況は、「エントリーあり」39.8%、「エントリーなし」60.2%。

開催別で見ると、広報解禁前の1月・2月は大学生、専門・専修学校生共に「エントリーなし」が「エントリーあり」を上回っているが、広報解禁後の3月・4月では大学生は「エントリーあり」が3月60.7%、4月74.0%と、「エントリーなし」を上回っている。専門・専修学校生は、すべての開催回で「エントリーなし」が「エントリーあり」を上回った。

エントリー社数は、「1～5社」62.4%が最多（「1～5社」大学生:59.2%、専門・専修学校生:79.3%）。大学生は11社以上エントリーした学生も20.1%いた（専門・専修学校生は3.5%）。

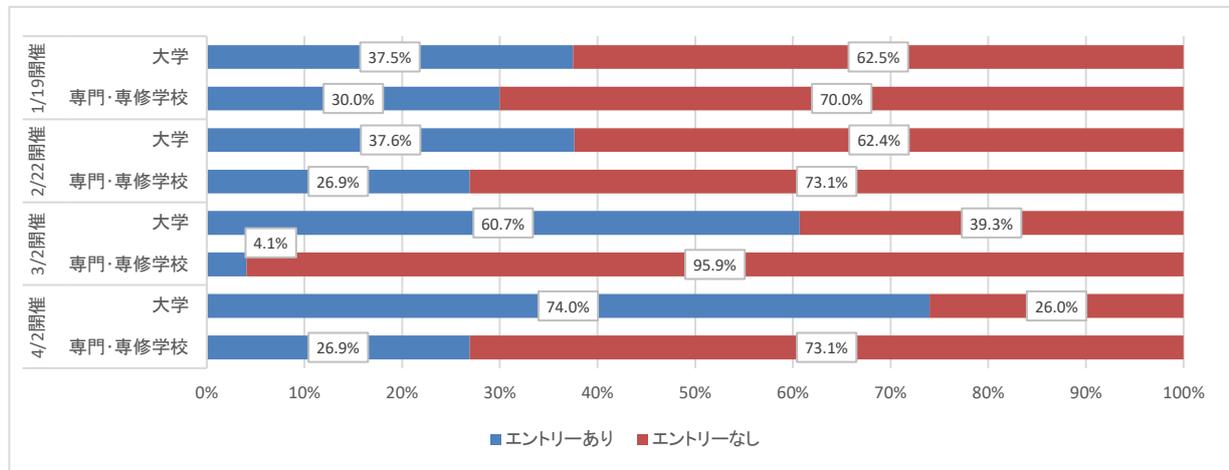
平均エントリー社数は全体7.3社、大学生7.9社、専門・専修学校生4.4社であった。

### ■エントリーの状況は？ ★22年卒：1・2月プレ就活イベント、3・4月合説参加者

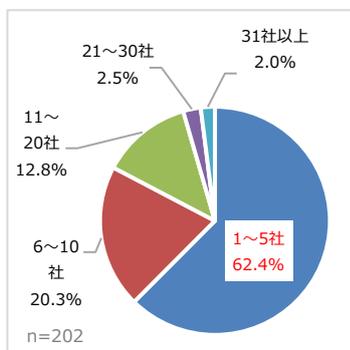


エントリー状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
エントリーあり	39.8%	51.9%	17.5%
エントリーなし	60.2%	48.1%	82.5%

※表内・上位をマーク



### ■エントリーした企業数 ★22年卒：1・2月プレ就活イベント、3・4月合説参加者



エントリー社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
1～5社	62.4%	59.2%	79.3%
6～10社	20.3%	20.7%	17.2%
11～20社	12.8%	14.6%	3.5%
21～30社	2.5%	3.1%	0.0%
31社以上	2.0%	2.4%	0.0%

※表内・上位をマーク

エントリー社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
平均値	7.3	7.9	4.4

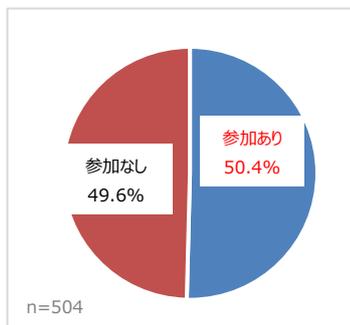
## ● 会社訪問や個別会社説明会の参加状況

会社訪問・個別会社説明会の参加状況は、「参加あり」50.4%、「参加なし」49.6%。大学生は「参加あり」64.4%が多かったのに対し、専門・専修学校生は「参加なし」74.7%が多かった。

開催別で見ると、大学生はすべての開催回で「参加あり」が「参加なし」を上回り、4月は78.0%の学生はすでに会社訪問・個別会社説明会へ参加していた。専門・専修学校生は2月開催のみ「参加あり」が5割を超えたものの、1月・3月・4月は「参加なし」の回答が多かった。

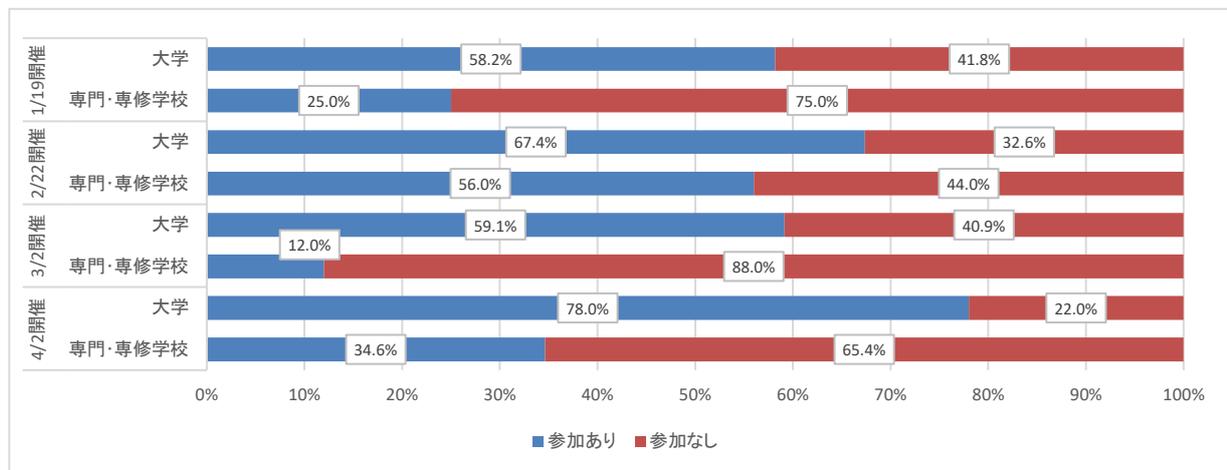
参加社数は、「1～5社」78.7%が最多で、学校別の首位も同じ（「1～5社」大学生:77.6%、専門・専修学校生:83.3%）。平均参加社数は全体4.5社、大学生4.6社、専門・専修学校生3.5社であった。

### ■ 会社訪問や個別会社説明会の参加状況は？ ★22年卒：1・2月プレ就活イベント、3・4月合説参加者

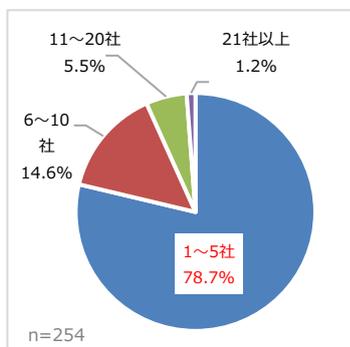


参加状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
参加あり	50.4%	64.4%	25.3%
参加なし	49.6%	35.6%	74.7%

※表内・上位をマーク



### ■ 会社訪問や個別会社説明会の参加社数 ★22年卒：1・2月プレ就活イベント、3・4月合説参加者



参加社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
1～5社	78.7%	77.6%	83.3%
6～10社	14.6%	14.9%	14.3%
11～20社	5.5%	6.5%	2.4%
21社以上	1.2%	1.0%	0.0%

※表内・上位をマーク

参加社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
平均値	4.5	4.6	3.5

## ●学外の合同企業説明会への参加状況

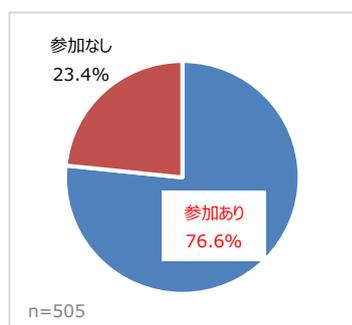
学外の合同企業説明会の参加状況は、「参加あり」76.6%、「参加なし」23.4%（「参加あり」大学生:86.6%、専門・専修学校生:58.8%）。

開催別で見ると、大学生は1月～4月すべて8割超が「参加あり」と回答。専門・専修学校生もすべての開催回で5割超となった。

参加回数は、「2回」が全体、大学生、専門・専修学校生共に最多で、それぞれ28.9%、21.7%、50.5%。3回以上参加している大学生は59.9%なのに対し、専門・専修学校生は26.8%と33.1ポイントの差があった。

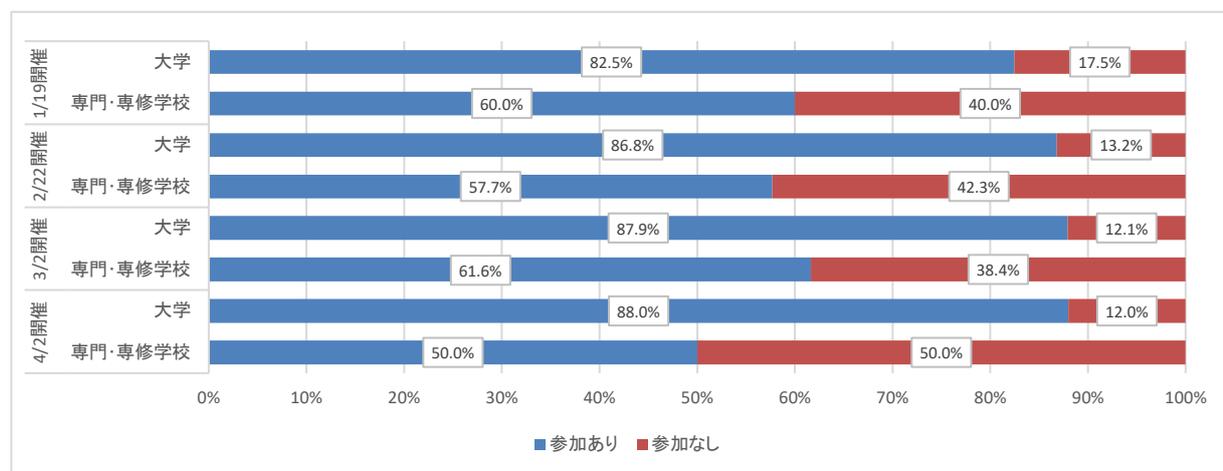
平均参加回数は全体3.3回、大学生3.6回、専門・専修学校生2.4回であった。

### ■学外の合同企業説明会への参加状況は？ ★22年卒：1・2月PL就活イベント、3・4月合説参加者

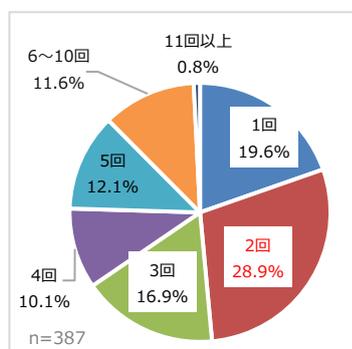


参加状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
参加あり	76.6%	86.6%	58.8%
参加なし	23.4%	13.4%	41.2%

※表内・上位をマーク



### ■学外の合同企業説明会への参加回数 ★22年卒：1・2月PL就活イベント、3・4月合説参加者



参加回数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
1回	19.6%	18.4%	22.7%
2回	28.9%	21.7%	50.5%
3回	16.9%	19.1%	10.3%
4回	10.1%	11.8%	5.2%
5回	12.1%	12.9%	8.2%
6~10回	11.6%	15.4%	3.1%
11回以上	0.8%	0.7%	0.0%

※表内・上位をマーク

参加回数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
平均値	3.3	3.6	2.4

## ● 応募状況

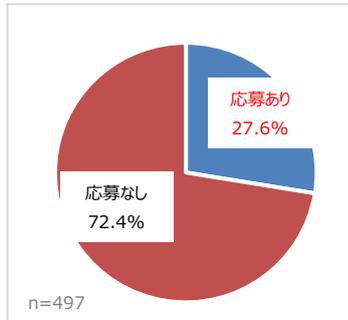
応募状況は、「応募なし」72.4%、「応募あり」27.6%（「応募なし」大学生:65.6%、専門・専修学校生:84.3%）。

開催別でみると、広報解禁前の1月・2月は総じて2割台だが、解禁直後の3月開催回では、大学生は前月の2月開催回と比べ11.0ポイント増、4月には5割超の大学生が応募行動を起こしていた。専門・専修学校生は1月・2月参加学生は2割超が「応募あり」であったが、解禁直後の3月参加学生の「応募あり」は6.8%、4月参加学生は18.5%であった。

応募社数は、全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多で、次いで「2社」。「1社」「2社」の合計はそれぞれ58.4%、55.3%、69.3%となり、1月～4月の応募社数は「1社」ないし「2社」の学生が多いことが窺える。5社以上応募している学生も全体、大学生、専門・専修学校生でそれぞれ26.2%、26.6%、23.1%だった。

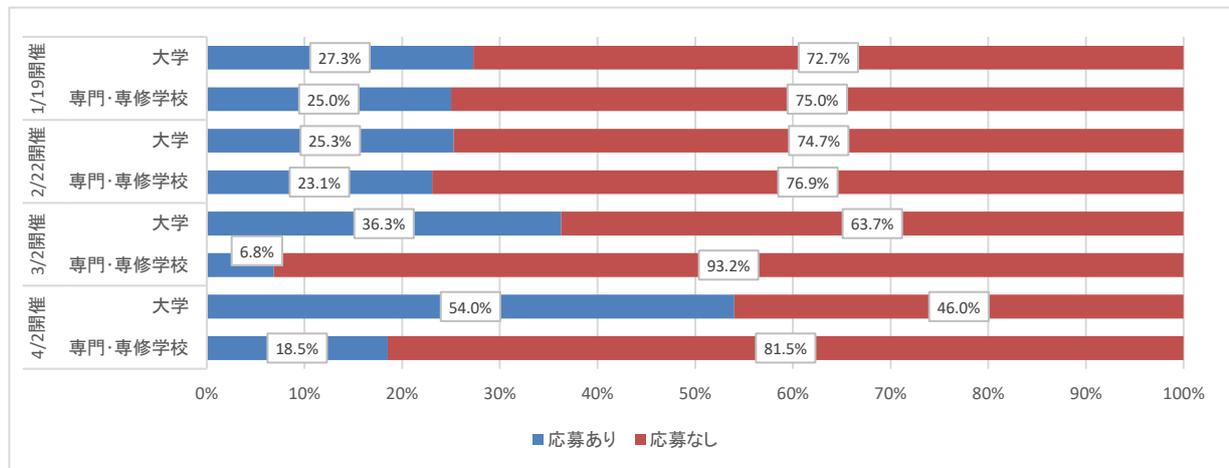
平均応募社数は全体3.4社、大学生3.5社、専門・専修学校生3.1社であった。

### ■ 現在までの応募状況は？ ★22年卒：1・2月PL就活イベント、3・4月合説参加者

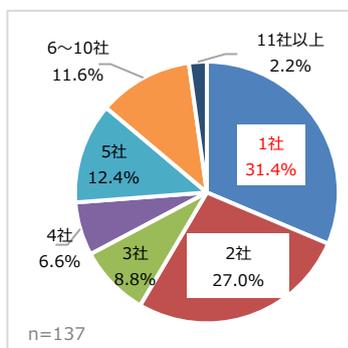


応募状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
応募あり	27.6%	34.4%	15.7%
応募なし	72.4%	65.6%	84.3%

※表内・上位をマーク



### ■ 応募社数 ★22年卒：1・2月PL就活イベント、3・4月合説参加者



応募社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
1社	31.4%	28.6%	38.5%
2社	27.0%	26.7%	30.8%
3社	8.8%	10.5%	3.8%
4社	6.6%	7.6%	3.8%
5社	12.4%	11.4%	11.5%
6~10社	11.6%	13.3%	7.7%
11社以上	2.2%	1.9%	3.9%

※表内・上位をマーク

応募社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
平均値	3.4	3.5	3.1

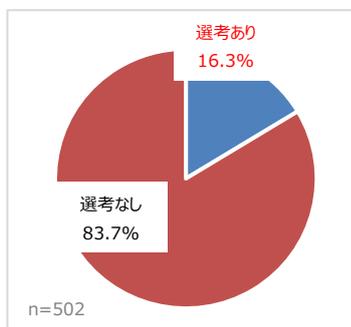
## ●選考状況

選考状況は、「選考なし」83.7%、「選考あり」16.3%（「選考なし」大学生：80.6%、専門・専修学校生89.8%）。広報解禁前後の1月～4月の段階では、早期選考に進んでいる学生は約1～2割であった。

開催別で見ると、2割以上「選考あり」と回答しているのは、2月参加の専門・専修学校生28.0%、3月参加の大学生22.1%、4月参加の大学生26.5%。

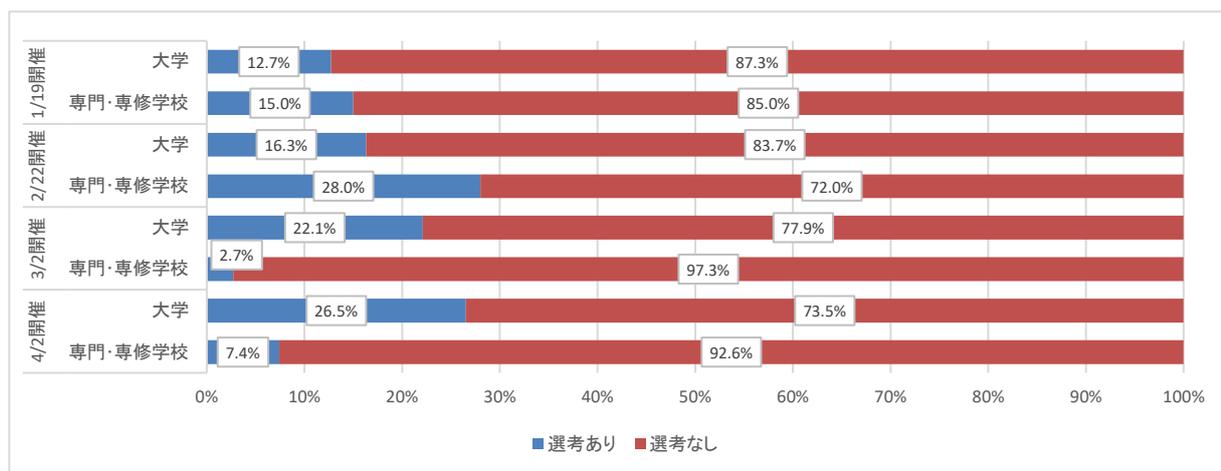
「選考あり」学生の選考社数は全体、大学生、専門・専修学校生共に「1社」が最多で、それぞれ42.7%、45.0%、35.3%。22年卒の平均選考社数は全体2.4社、大学生2.5社、専門・専修学校生2.2社であった。

### ■現在までの選考状況は？ ★22年卒：1・2月PL就活イベント、3・4月合説参加者

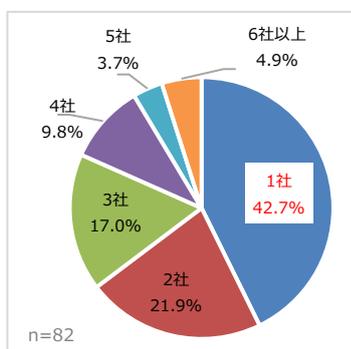


選考状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
選考あり	16.3%	19.4%	10.2%
選考なし	83.7%	80.6%	89.8%

※表内・上位をマーク



### ■選考社数 ★22年卒：1・2月PL就活イベント、3・4月合説参加者



選考社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
1社	42.7%	45.0%	35.3%
2社	21.9%	20.0%	29.4%
3社	17.0%	15.0%	23.5%
4社	9.8%	10.0%	5.9%
5社	3.7%	3.3%	5.9%
6社以上	4.9%	6.7%	0.0%

※表内・上位をマーク

選考社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
平均値	2.4	2.5	2.2

## ●内定状況

内定状況は、「内定あり」2.2%、「内定なし」97.8%（「内定なし」大学生:97.1%、専門・専修学校生:99.4%）。僅かながら、広報解禁前後の1月～4月で早期内定を獲得している学生もいることがわかる。

内定社数は、「1社」63.6%が最も多い。学校別で見ると、大学生は「1社」66.7%、2社以上の内定を得ている学生も33.3%。専門・専修学校生は「1社」100.0%であった。

平均内定社数は全体1.7社、大学生1.8社、専門・専修学校生1.0社。

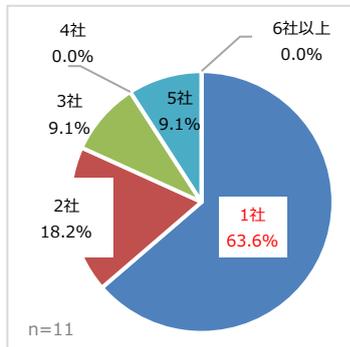
### ■現在までの内定状況は？ ★22年卒：1・2月フル就活イベント、3・4月合説参加者



内定状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
内定あり	2.2%	2.9%	0.6%
内定なし	97.8%	97.1%	99.4%

※表内・上位をマーク

### ■内定社数 ★22年卒：1・2月フル就活イベント、3・4月合説参加者



内定社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
1社	63.6%	66.7%	100.0%
2社	18.2%	11.1%	0.0%
3社	9.1%	11.1%	0.0%
4社	0.0%	0.0%	0.0%
5社	9.1%	11.1%	0.0%
6社以上	0.0%	0.0%	0.0%

※表内・上位をマーク

内定社数	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
平均値	1.7	1.8	1.0

## ● 就活を終了したい時期

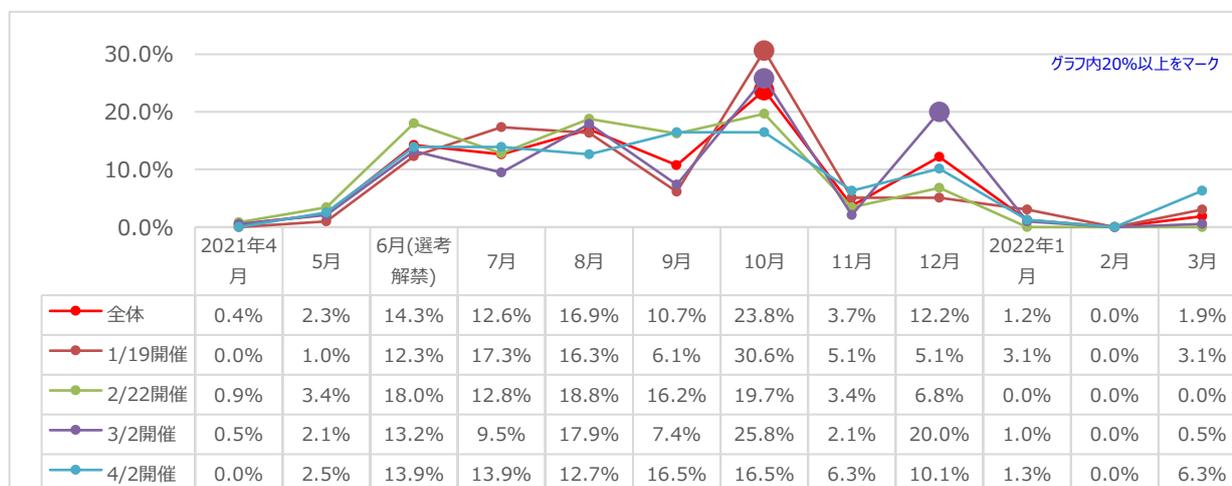
就活を終了したい時期は「10月」が最も多く23.8%。次いで「8月」16.9%、「6月」14.3%、「7月」12.6%、「12月」12.2%と、6～10月に78.3%が集中。選考解禁～年内で就活を終了したい傾向が窺えた。

学校別では、大学生・専門・専修学校生共に首位は「10月」（大学生:22.8%、専門・専修学校生:24.4%）。大学生の次点は「6月」17.9%。専門・専修学校生は「12月」24.4%が同率首位。大学生は6月～10月（86.1%）までに、専門・専修学校生は8月～12月（74.5%）に就活を終えたいと考えている学生が多いことが窺えた。

開催別でも概ね「10月」が多いが、3月参加の専門・専修学校生では「12月」42.9%、4月参加「2022年3月」20.0%が最も多かった。

※ 2022年卒採用活動では、企業の採用広報解禁時期を3年生の3月、面接等の選考活動は4年生の6月とした。

## ■ いつまでに就職活動を終わりたいですか？（自由回答） ★22年卒：1・2月アプ就活イベント、3・4月合説参加者



就職活動終了時期	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
2021年4月	0.4%	0.7%	0.0%
5月	2.3%	3.0%	0.6%
6月(選考解禁)	14.3%	18.0%	9.6%
7月	12.6%	14.6%	9.0%
8月	16.9%	17.5%	12.8%
9月	10.7%	13.2%	5.8%
10月	23.8%	22.8%	24.4%
11月	3.7%	2.3%	7.1%
12月	12.2%	6.6%	24.4%
2022年1月	1.2%	1.0%	1.2%
2月	0.0%	0.0%	0.0%
3月	1.9%	0.3%	5.1%

表内・20%以上をマーク

就職活動終了時期×開催回	1/19開催		2/22開催		3/2開催		4/2開催	
	【大学生】	【専門・専修学校生】	【大学生】	【専門・専修学校生】	【大学生】	【専門・専修学校生】	【大学生】	【専門・専修学校生】
2021年4月	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
5月	1.8%	0.0%	3.4%	4.2%	3.5%	0.0%	2.2%	0.0%
6月(選考解禁)	18.2%	5.4%	19.3%	16.7%	15.9%	10.0%	19.6%	8.0%
7月	16.4%	18.9%	13.6%	12.5%	12.4%	2.9%	19.6%	8.0%
8月	16.4%	10.9%	18.2%	16.7%	17.7%	17.1%	17.4%	0.0%
9月	7.3%	5.4%	14.8%	16.7%	12.4%	0.0%	19.6%	12.0%
10月	25.5%	37.8%	19.3%	20.8%	28.3%	21.4%	13.0%	16.0%
11月	3.6%	8.1%	3.4%	4.2%	0.9%	4.3%	2.2%	16.0%
12月	5.4%	5.4%	6.8%	8.2%	7.1%	42.9%	6.4%	16.0%
2022年1月	3.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	4.0%
2月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3月	1.8%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	20.0%

表内・20%以上をマーク

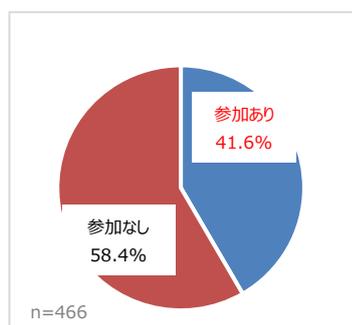
## ● インターンシップの参加状況・参加時期

インターンシップの参加状況は「参加あり」41.6%、「参加なし」58.4%で、「参加あり」が16.8ポイント下回った。

インターンシップへ参加した時期は、広報解禁前の「2021年2月」70.2%が最多。次いで「2020年8月」29.1%となり、解禁目前の2月と前年の8月（学校の春期・夏期休業の時期）に集中していることが見て取れる。

学校別でみると、大学生は広報解禁前の「2021年2月」70.2%、「2020年8月」33.6%、「2019年12月以前」20.6%の順。専門・専修学校生は広報解禁前の「2021年2月」81.3%が最多で、次点は「2021年1月」12.5%であった。

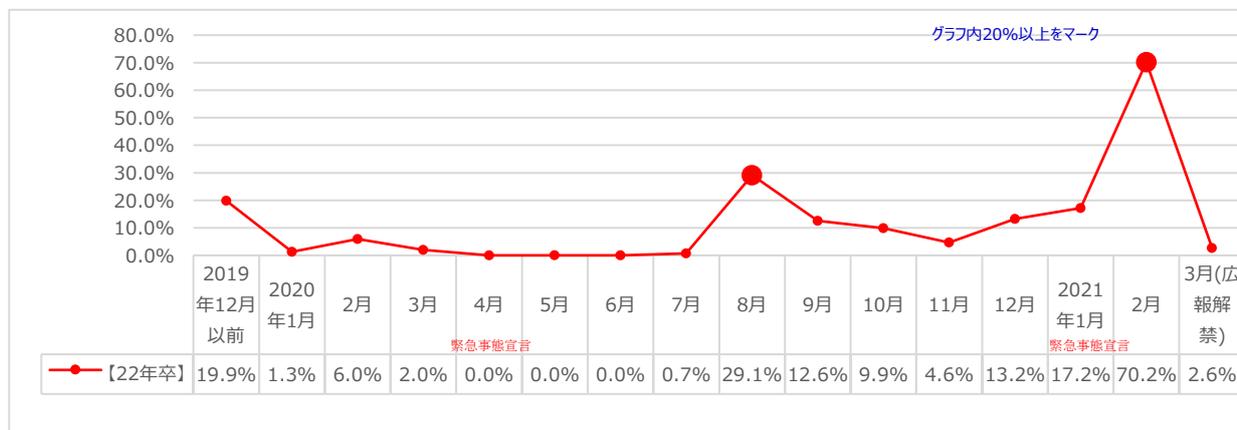
### ■ 実際にインターンシップに参加したことがありますか？（単一回答）



応募状況	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
参加あり	41.6%	54.0%	16.3%
参加なし	58.4%	46.0%	83.7%

※表内・上位をマーク

### ■ 参加した時期は？（複数回答）



インターンシップ参加時期	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
2019年12月以前	19.9%	20.6%	0.0%
2020年1月	1.3%	1.5%	0.0%
2月	6.0%	6.1%	6.3%
3月	2.0%	2.3%	0.0%
4月(緊急事態宣言)	0.0%	0.0%	0.0%
5月	0.0%	0.0%	0.0%
6月	0.0%	0.0%	0.0%
7月	0.7%	1.5%	0.0%
8月	29.1%	33.6%	0.0%
9月	12.6%	14.5%	0.0%
10月	9.9%	10.7%	6.3%
11月	4.6%	4.6%	6.3%
12月	13.2%	14.5%	6.3%
2021年1月(緊急事態宣言)	17.2%	17.6%	12.5%
2月	70.2%	70.2%	81.3%
3月(広報解禁)	2.6%	2.3%	6.3%

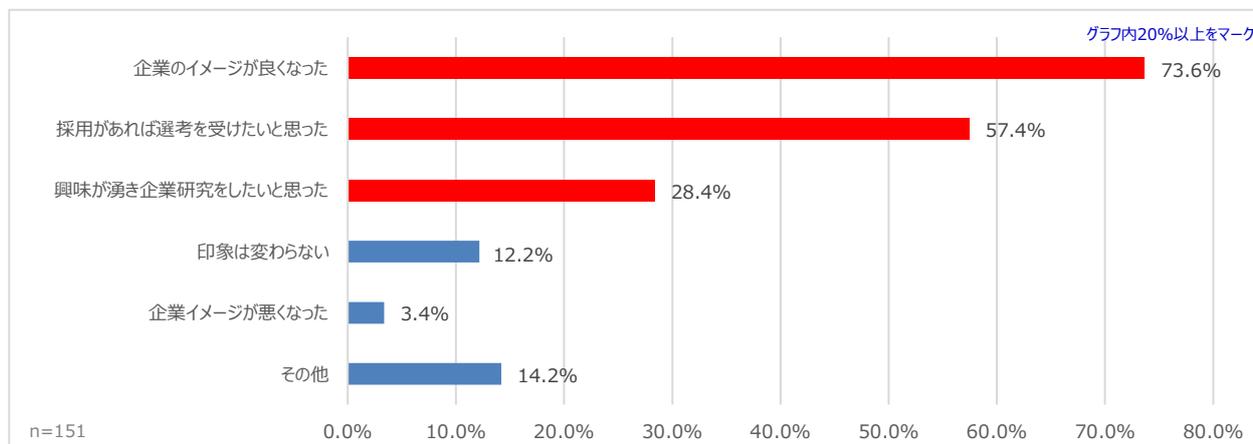
表内・20%以上をマーク

## ● インターンシップ参加の感想

参加した学生が、インターンシップ先の企業に感じたことは「企業のイメージが良くなった」73.6%がトップ、次いで「採用があれば選考を受けたいと思った」57.4%、「興味が湧き企業研究をしたいと思った」28.4%の順で、好印象と感じた回答が上位3位を占めた。

学校別でみると、大学生、専門・専修学校生共に首位は変わらず、大学生の2位・3位は全体と同じ、専門・専修学校生は全体の2位・3位が同率2位で、学校別でみてもインターンシップへの参加経験が、好印象につながったことが窺える。

### ■ 【インターンシップ参加者のみ回答】参加して感じたことは？（複数回答）



インターンシップ参加の感想	【全体】	【大学生】	【専門・専修学校生】
	22年卒	22年卒	22年卒
企業のイメージが良くなった	73.6%	76.9%	50.0%
採用があれば選考を受けたいと思った	57.4%	60.0%	35.7%
興味が湧き企業研究をしたいと思った	28.4%	28.5%	35.7%
印象は変わらない	12.2%	13.1%	7.1%
企業イメージが悪くなった	3.4%	3.1%	7.1%
その他	14.2%	15.4%	0.0%

表内・20%以上をマーク